

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域連携の理論と実際		選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 宏史	D305	sakamoto	木曜日 10:00~13:00		
授業の目的・概要	<p>大学生としての教養と地域行政についての知識を身に着けるため、地域の諸問題や地域連携の実例を学び、今日的課題への取り組み方を考える。専門職を目指す者としてのコミュニケーション能力を養う。</p> <p>富士河口湖町と大学との連携を基礎に、地域行政の専門家が、まちづくり、保健・医療・福祉分野などを中心に、地域行政の今日的課題について解説する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防のため、遠隔授業を取り入れるが、マイクロソフト Teams や電子メールを利用してフィードバックを行う。</p>				
学習上の助言	地域行政の専門家から直接話を聞くことができる貴重な機会であるので、質疑など積極的に取り組んでほしい。				
教科書	特に指定しない。担当講師が資料を提示・送信する。				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	富士河口湖町の地域特性について理解することができる。地域行政の課題や課題への取り組み・具体的な活動について理解することができる。			HSU(1),(2),(6)	
②	地域行政における、多種の専門職それぞれの役割を理解できる。さらに職種間連携について考えることができる。			HSU(1),(2),(5)	
③	個々の学生が主体的に考え、各々の立場から意見を明確に表明することができる。課題について調査・レポートの準備・作成ができる。			HSU(1),(2),(5),(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	富士河口湖町における行政を学ぶ。 地域行政の概要について、富士河口湖役場政策企画課職員講義を聴き、興味や疑問をまとめる。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
2	地域行政の取り組みの実際と課題(1) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅠ 富士河口湖役場生涯学習課職員の講義を聴き、興味や疑問をまとめる。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
3	地域行政の取り組みの実際と課題(2) 「地域おこし協力隊事業 (大石紘の保存と継承)」についての講義を聴き、興味や疑問をまとめる。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
4	第1回~3回までの授業のまとめ、レポート課題 (講話のまとめ) についてのフィードバック	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
5	地域行政の取り組みの実際と課題(3) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅡ 富士河口湖役場福祉推進課職員の講義を聴き、興味や疑問をまとめる。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
6	地域行政の取り組みの実際と課題(4) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅢ 富士河口湖役場健康増進課職員の講義を聴き、興味や疑問をまとめる	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
7	地域行政の取り組みの実際と課題(5) 「地域おこし協力隊事業 (富士河口湖町本栖地区の活性化)」についての講義を聴き、興味や疑問をまとめる。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	
8	地域連携の実際(1) 地域社会における女性の活躍の事例を通してこれらからの地域振興のあり方を講義する。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

9	地域連携の実際(2) 地域社会における家族の変化と地域連携について具体的な活動を通して講義する。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4
10	地域連携の実際(3) 地域の観光振興と具体的な観光事業のあり方について事例を通して講義する。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4
11	地方行政/地域連携に関わる課題について、期末レポート作成の説明、レポートテーマ準備。	同時双方向型遠隔授業	講義のまとめ、講義から、課題の抽出	4
12	レポートのテーマ決定・提出、レポートための資料収集	同時双方向型遠隔授業	レポートための資料収集	4
13	レポートの資料収集、レポートの作成	同時双方向型遠隔授業	レポートための資料収集	4
14	レポートの作成、提出	同時双方向型遠隔授業	レポートの作成	4
15	講座全体を通してのまとめ	同時双方向型遠隔授業	講座を通して学んだことをまとめる	4
試	レポート課題：			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	25	0	0	0	25
	思考・推論・創造する力	0	25	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	25	0	0	0	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	✓	レポートの添削・評価
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

備 考

担当教員：◎坂本宏史、堤 美智、広瀬 晃士（政策企画課）、杉本 悠樹（生涯学習課 学芸員）、渡邊 勇介（福祉推進課）、和光 勇介（健康増進課）、栗林 茜（元地域おこし協力隊）、中原 崇（元地域おこし協力隊）、堤 マサエ（山梨県立大学名誉教授）、船木 上次（萌木の村株式会社代表取締役）。役場内の業務・人事異動等の都合によって、担当教員や、講義の順序が入れ替わる可能性がある。

**教員の実務経験：**富士河口湖役場で町の行政を担当する職員や、地域おこしを実践している元役場職員（地域おこし協力隊）、八ヶ岳南麓の活性化に尽力している団体の代表 船木 上次氏、家族社会学の専門家 堤 マサエ氏を特別講師として迎える。また専任講師の堤 美智准教授は、地域経済の振興についての専門家で、国内外の事情に詳しい。

**実践的授業の内容：**この授業では、それぞれの特別講師が、日頃行政現場で実践している業務の内容や課題を紹介し、受講者と一緒に課題の解決法を考えていく。内容は、具体的で、受講者にとり共感しやすいものになっている。

感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推薦する。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。